

シドニー・ハーバーブリッジ

Bridges of the World

オーストラリア・シドニー



シエラレオネ・2009年発行



モントセラト・2012年発行

シドニー・ハーバーブリッジは、オーストラリア最大の経済都市・シドニーにとって交通の大動脈であるばかりでなく、重要な観光スポットになっています。開通したのは1932年3月で、橋の全長は1150m、中央のスパン503mの巨大な鋼製アーチ橋がシドニー港（ポートジャクソン湾）の中央部を一跨ぎして、南側のシドニー市の中心商業地区（CBD）と北側のノースシドニーのノースショア地区を結んでいます。

架橋の検討は20世紀初め頃から始まり、ブラッドフィールドがチーフエンジニアに任命されて本格的な計画が進められました。競争設計の結果、建設費が安くなるアーチ橋を提案したイギリスのドーマンロング社の案が採用されることになりました。同社はイングランドのニューキャッスルでタイン橋を建設中で、その点も評価されました。鋼材の80%はイギリスからの輸入でしたが、一部の鋼材やリベットなどは国産材が使われました。

橋上には鉄道、自動車道、自転車道、歩道が配置され、幅が49mもある世界最大幅の橋となりました。交通路だけでなく、電気、通信ケーブル、水、ガスのライフラインも添架されました。中央のアーチ橋は当時としては破

格の規模を持っていましたが、1年前に完成したニューヨークのベイヨン橋が70cmほど長く、世界最長の称号はかないませんでした。

大きな船が通るため、桁下の高さは海面から49mが確保され、アーチ頂部の高さは134mに達します。橋の形式は正確に言う中路式2ヒンジブレースドリブアーチ橋です。アーチ部の両端に大きな石張りのコンクリートの塔が4本建てられ、重厚な景観を造っています。

この橋に登るブリッジクライムが人気のツアーになっています。お揃いの作業着に着かえ、命綱を付け、リーダーに従って、アーチ頂上へ登ります。所要時間は約3時間半で、シドニー港のパノラマを楽しむことができます。この他にも南東側の塔に登ることができるようになっています。

この橋は高橋尚子さんが金メダルに輝いた2000年のシドニーオリンピックのマラソンコースに入れられていました。わざわざ急勾配の橋をコースに組み込んだのは、この橋を世界に発信するチャンスと考えた市の当局者の意図があったのではないのでしょうか。

